

「3Dプリンター」、「エコレザー」など旬のビジネスモデルを提案 ー15年春夏は90年代調が新鮮。ジェンダーのクロス化がさらに進むー

●開催概要

第49回ISF(アイ・エス・エフ)
日時: 2014年9月24日(水)～26日(金)
会場: 池袋サンシャインシティ文化会館
展示: 靴、バッグ、健康関連グッズほか
出展: 115社
来場: 4093人
主催・運営: エフワークス(株)



「3Dプリンター」実演

“足の美と健康”の国際靴・雑貨見本市「第49回ISF」が9月24日(水)～26日(金)まで、東京・池袋サンシャインシティ文化会館で開催された。

今回の来場者数は、3日間で合計4093人。初日1230人、2日目1957人、3日目906人を数え、活発な商談の場となった。

出展社数は115社。国内65社、海外50社で、海外からは5カ国から参加した。ドイツ12社、中国15社、台湾9社がグループ出展した。この他トルコ、バングラデシュからも出展があった。

今回のISFでは、特集企画として「3Dプリンター」「日本エコレザー」「学校OBクリエイター」の3本を取り上げた。いずれも日本靴業界の将来につながるテーマとして、来場者の関心が高かった。

「3Dプリンター」では、靴の企画・デザインに使えるデジタル機器を3社が実演展示。この分野で先進のビジネス提案を行なう(株)ケイズデザインラボの原雄司社長が、セミナーと実演解説を行ない、商品企画担当者の関心に応えた。

「日本エコレザー」は人と環境に優しい天然皮革で、日本皮革産業連合会が認定している新素材。ここにスポットを当てた「日本エコレザー」ブースをNPO法人日本皮革技術協会が設け、革と皮革製品を展示した。26日には、「いまこそ出番! 人と環境に優しい“日本エコレザー”」と題したパネルディスカッションを実施。研究者、企画製造者、製品供給者の立場から、その市場評価や認知度の向上に向けた取り組みなどが話し合われた。

「学校OBクリエイター」の企画は、靴やバッグ業界に人材を送り出している服飾専門学校と、卒業生にスポットを当てた。7校・19名の個性あふれる作品が展示され、多くの在籍生が来場した。また、OBクリエイター4名によるパネルディスカッションも行われ、クリエイターとして生き残るポイントや後輩へのアドバイスが語られた。

このほか前回も行なったシューケア実演が好評だった。(株)コロブスのカラリスト3名が、最近問い合わせの多い「特殊革」を取り上げ、専用のケア用品によるお手入れを特集した。



「日本エコレザー」のブース



「学生OBクリエイター」の
パネルディスカッション



「シューケア」実演